



「海洋深層水ってどんなもの？」

海の深さ何メートルから「海洋深層水」になるの？



今号から1年間、久米島の海洋深層水とエネルギーの話をお届けすることになりました、GOSEA 事務局の岡村盡です。ふだんは真謝の沖縄県海洋深層水研究所内の海洋温度差発電実証試験設備で仕事をしています。

このコーナーでは、久米島では海洋深層水が今どのように使われていて、今後どういうことを目指しているのか。また、それが島の再生可能エネルギー拡大とどう関わってくるのか。といったところを紹介していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、第1回目の今回は、知っているようでよく考えると難しい、「海洋深層水って何？」という問いから始めてみたいと思います。

そもそも海洋深層水は、真水なのか？それとも塩水なのか…？これは、研究所に見学に来る人に聞いてみると、結構迷う人が多い問いだったりします。答えは「塩水」。え？でも、海洋深層水のミネラルウォーターはしょっぱくないの？…そう、あれはミネラルウォーターにする時に特殊な膜を使って塩だけ抜いてるからしょっぱくないのです。

海洋深層水は、深海から汲み上げた海水です。では、水深何メートルまで潜ると「深海」なのでしょう。これも、いざ聞かれると「ハテ？」となる質問です。「深海」の定義は、実は学問分野によって違うんですが、一番メジャーな定義では「水深 200 メートルより深いところ」。深さおよそ 200 メートルで太陽光はほとんど届かなくなり、そこから先は光合成をする植物が生きていけない世界になります。生態系がガラッと変わる境目。それより深いところが「深海」で、その海水が「海洋深層水」と呼ばれています。

海洋深層水は、ふつうの海水と少し違う特徴を持っています。今回は、久米島ではその特徴をどう活用しているのか、紹介したいと思います。

(一社) GOSEA 事務局 岡村盡 (地域おこし企業人) 久米島町プロジェクト推進課

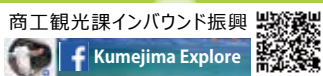
アメリカ人観光客のご家族からのお礼メッセージが届きました！

観光で久米島を訪れたアメリカ人のお子さん2人が自転車で転倒してしまいました。通りかかった方たちが、迅速に対応し、親切にも自転車もホテルまで送ってもらったと、お礼のメッセージをいただきました！



You are welcome!
どういたしまして！

ご対応くださった町内のみなさん、ありがとうございました！



たった3日の久米島の滞在でしたが、島の人たちの親切は決して忘れません。自転車で島一周している時に、ティーダ橋の北東側で衝突してしまいました。3台の車から何人かの島の人が、2人の子供たちを助けるためにすぐに止まってくれ、救急車に電話し、自転車までホテルに運んでくれました！その迅速な対応には、感謝してもしきれません。大変優秀な仕事をしてくれた病院と救急車のスタッフの方も、子供たちを気遣ってくれました。息子は、一针縫う必要があったので、ちょぴり恨めしそうでしたが…。診療後も、診察料を支払うのを手伝ってくれ、ホテルまで送ってくれました。遅くまで待っていてくれた薬局の方にもありがとう。お陰で、息子のための薬ももらうことができました。最後に、私たちの滞在を最高の心遣いでおもてなしてくれたサイプレスホテルのスタッフにも感謝します。プール開きしたら、必ず島に戻ってきます！改めて、この素敵な島で、私たちを歓迎してくれた皆さんに、ありがとう！久米島に帰ってくる秋が待ちきれないです！



沖縄本島在住 ダニエルさんより

Universal Design 本誌はメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザー検定3級取得者の確認・校正作業を経て発刊しています。



広報誌「広報くめじま」はユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

2021 (令和3年) 5月号 発行/久米島町役場 編集/久米島町役場総務課 TEL.098-985-7121 FAX.098-985-7080

久米島町役場ホームページ <http://www.town.kumejima.okinawa.jp> FMラジオ/ラジオ広報ハイサイくめじま 平日午前10時~11時・午後5時~6時[再放送]